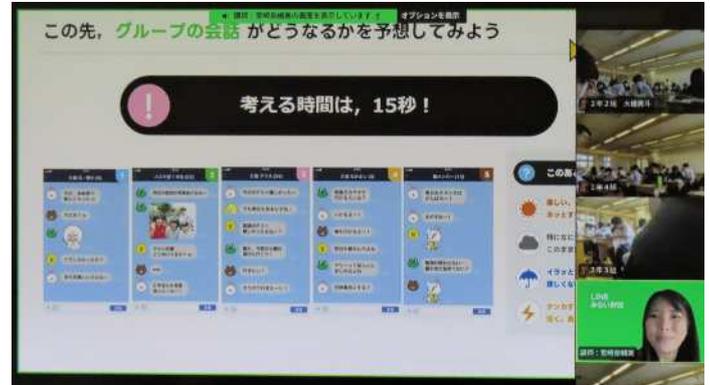


SNSでの適切なコミュニケーションについて考える機会に セーフティ教室「オンライン出前授業」 5月7日(水)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。

今年度のセーフティ教室では、LINEみらい財団が行っている「オンライン出前授業」を活用、情報モラル教育のうちのワークショッププログラム「楽しいコミュニケーションを考えよう!(リスクの見積もり編)」を実施しました。今回は、オンラインによる授業なので、アリーナでの講演形式でなく、各教室での班活動形式で行いました。



SNS上のグループ会話の様々なやり取りの事例パターンをワークシートでみながら、これを読んだ相手がどのように感じるかを想像し、それを基にして班ごとにグループディスカッションを行いました。意見交換をしてみると、同じ会話のやり取り一つを取っても、肯定的にとらえる生徒もいれば否定的にとらえる生徒もいて、短い文字の文章では、書き手の意図が読み手に上手く伝わらないことがあることに気付くことができました。そして、そうしたことを踏まえ、言葉の選び方には、客観的・多面的な視点をもった配慮が必要であることなど、SNSにおける適切なコミュニケーションについて考える機会となりました。



今回の講義を通して、生徒からは「送る前に、これを読んだときに傷つくことにならないか、内容を確認する。」「絵文字や!、?の記号なども上手に使って、感情のニュアンスを伝える。」といった感想があがるなど、受け手のことを考えたコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。これは、本校の校訓「品格・礼節」にもつながるものであり、SNSに限らず、日頃の会話の中でも活かしてほしいと思います。